

【塩田公民館（第4回）】路線バス利用者説明会 会議録

1 協議会名	路線バス利用者説明会
2 日時	令和7年4月14日（月曜日） 19:00～20:35
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	●上田バス株式会社 新井取締役乗合部長 ○上田市 佐藤都市建設部長、横沢課長、坂口補佐、木角
5 参加者	10名
5 会議概要作成年月日	令和7年5月19日

協 議 事 項 等

1 開 会（上田市 交通政策課 横沢課長）
2 あいさつ（上田市 都市建設部 佐藤部長）
3 地域公共交通利便増進事業について（上田市 交通政策課 坂口補佐）
4 交通事業者の現状について（上田バス株式会社 新井取締役乗合部長）
5 質疑応答 ●参加者 ・バスを日常的に利用しており、特にオレンジバスを頻繁に利用している。 ・運賃が200円になるということだが、いつから変更されるのか。 ⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐 ・本年10月である。 ⇒●参加者 ・普段オレンジバスを利用している方は200円になることを知らないと思う。 ・周知をお願いしたい。 ⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐 ・まずは利用者説明会で説明させていただき、そのあとに関係施設等への資料設置や、車両内での周知を図っていきたい。 ●参加者 ・塩田地域公共交通を考える会として、出前講座を開催しながら路線バスについて学習してきた。 ・オレンジバスの西塩田コースは特に利用者が多く、車内は座るところがないくらいである。 ・また、西塩田コースは通常の路線バスが運行しているような開けた場所を走るが、東塩田コースは山間部の細い道を通っている。 ・信州上田レイライン線については、信州の鎌倉シャトルバスとは異なり急斜地を走るが、無言館から

下之郷駅までは民家もなく生活圏でない箇所を運行するため、もう少し乗りやすいコースにできないかと考えていた。

- ・具体的には、新町の交差点の中に入っていき、通常路線バスが運行していない東前山、西前山を運行するルートなども考えられる。
- ・信州の鎌倉シャトルバスがなくなったことで、あいそめの湯に行けなくなった方もいる。
- ・高齢者にとって使いやすいバスにしていくためには、バス停が近くにあるなど、利用しやすい環境の整備が重要である。
- ・今回の再編でツルヤ塩田店が出発地になるということで、とてもありがたく感じている。
- ・自転車通学をしている高校生や中学生が、帰りは自転車を押して帰ってくる光景をよく目にする。
- ・他地域を見ていると、自転車で電車に乗れるところもあるため、そういった別所線の利用も考えていただきたい。

⇒○上田市 交通政策課 横沢課長

- ・信州上田レイライン線については、市長からも下之郷駅から無言館までのルートについて見直しが必要ではないかとの意見をいただいている。
- ・また、塩田町駅と無言館をつなぐルートはどうかとの意見を市長からいただき、今回見直しを行ったという経緯もある。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・路線のイメージとしては、ツルヤ塩田店を発着として、学海団地を通過し、塩田町駅へ接続する。その後、新町交差点に出て、無言館を経由し、再度新町まで戻り、手塚地域に入って別所温泉まで向かう。最後は県道を経由し、ツルヤ塩田店へ戻るルートである。

⇒●参加者

- ・無言館に行った後、新町に戻るルートだと塩野神社周辺の方が困る。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・今回はひとまずこのルートで運行できればと考えている。
- ・また、レイライン線について、冬季は運行していなかったが、再編によって通年運行にしたいと考えている。
- ・そうすると凍結の危険があるルートは避けなければならないが、今回のような運行ルートに設定した経緯がある。

⇒●参加者

- ・ツルヤの停留所はどこに設置されるのか。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・停留所は南側入り口付近に設置できないかと考えている。
- ・店舗の隣に設置するため、雨宿りもできるうえ、バスを待つ時間に店内でゆっくりできる。
- ・バスの待機については利用者の邪魔にならない場所を検討している。
- ・ツルヤ塩田店からも許可をいただいております、詳細については今後詰めていきたい。

⇒○上田市 交通政策課 横沢課長

- ・信州上田レイライン線について、無言館までの利用者はいるが、その先の利用者が少ない状況であり、現状のままでの維持は厳しいということから再編に至ったという経緯がある。
- ・実際にレイライン線に乗車すると無言館まで行く利用者はおり、別所温泉から戻ってくると、反対に無言館で乗車して下之郷駅へ帰る利用者がある。
- ・どうしても無言館から先となると利用者が少ない。そのため、今回このような見直しを行ったということをご理解いただきたい。

- ・オレンジバスも実際に乗車すると、西塩田の多くの皆様に利用いただいている。
- ・心苦しいところではあるが、有料化を行わざるを得ないということをご理解いただければと思う。
- ・サイクルバスやサイクリートレインについては、コロナ禍前に別所線で実証実験を実施した。
- ・しかし、特に上田駅などで駅の構造上自転車を運ぶということが困難であり、実施に当たってはホームの改修も必要となってくるため、難しい状況だと考えている。
- ・サイクルバスについても、他地域では期間限定で実施しているところがあるが、通勤での利用で実現できるかというところが難しいところがある。
- ・実施するとしても観光利用かつ期間限定という形になってしまうと思うが、今後も研究をしていきたい。
- ・オレンジバスの運行についても現在のルートが万全だとは思っていない。利便増進事業を行う中で、出前講座なども通じ、率直に皆様と意見交換ができればと思う。

●参加者

- ・別所線は増便によって下之郷駅までの便が多くなっているが、別所温泉までは逆に減っている感じがする。
- ・むしろ8時台の時間に利用していた便がなくなってしまった。
- ・そういった部分をカバーできる路線バスであってほしい。
- ・下之郷駅で停車する便が多くなっているの、下之郷駅から塩田方面へ運行する路線バスがあれば、別所線がない時間帯にカバーできると思う。
- ・先ほどの話ではかなり運行ルートが決まっている様子であったが、それ以外のルートは想定しているのか。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・一旦はお示ししたルートでの運行を考えている。
- ・塩田線はもともと収支率が低い中で再編を検討してきた路線であり、ひとまずは運行をする中で利用者増加を目指し、状況を見つつ今後検討していきたい。
- ・別所線のダイヤ改正によって不便になった箇所もあると思うが、時間を合わせてご利用いただければと思う。
- ・塩田地域循環バスについては塩田町駅と別所温泉駅にも接続するため、鉄道と組み合わせながらご利用いただけるとありがたい。

⇒●参加者

- ・塩田線に乗ると利用者が1名ということもあり、運行は大変だろうと考えていた。
- ・今後も状況を見ながら適宜見直しを行ってほしい。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・ツルヤ塩田店内に停留所を設置することは初めての試みである。
- ・塩田線を生活支援路線にすることで利用者が増加するのかもしれないところも見つつ、検討を行ってきたい。

●参加者

- ・資料の中でバス事業の赤字額が1億1千万円と説明があったが、これは上田市の負担分ということか。
- ・運賃低減バスを10年ほど実施する中で、利用者にも浸透してきたと思うが、この制度を維持することはできないのか。
- ・運賃の引き上げについて経過措置を設けるとのことだが、運転手や利用者にも負担となりトラブルが

発生する可能性がある。また、機械の設定などで経費もかかってくるため、一気に上げた方がいいのではないか。

- ・オレンジバスについては旧上田市以外の地域は恩恵を受けていない。
- ・地域に路線バスが走っているだけでもありがたいという思いで、利用者には値上げを我慢していただきたい。
- ・電車、バスにしろ1~2時間に1本でも運行されるだけありがたいという気持ちでいかなければ、全市民が満足のいくものにはならないと思う。

⇒○上田市 交通政策課 横沢課長

- ・赤字額については資料に記載のとおりであり、総事業費が約6.2億円、県、市補助が2.9億円、上田市が負担している部分は大体1.5億円という状況である。
- ・その他については、路線バスが乗り入れている青木村や立科町の補助金となっている。
- ・総収入は約2億円であり、残り1.1億円がバス事業者の負担分になっている。
- ・昨年の4月に減便が行われたため、現在はここまでの赤字ではないと試算している。
- ・運賃についてもゾーン制導入によって段階的に値上げを行うため、行政負担の増加の部分と運賃の引き上げの部分等により、赤字額は約7千万円となると考えている。
- ・運賃の値上げと行政負担によって赤字を解消していきたい。
- ・行政も財政状況は厳しいため、国からの補助金や特別交付税を活用し、増加した負担部分は賄っていく。
- ・オレンジバスについては旧上田市内の運行となっているが、他地域でも地域限定の移動手段がある。
- ・真田地域ではふれあいさなだ館と地域を結ぶ無料のバスが運行されており、武石地域では合併前の平成18年2月からデマンド交通が運行、丸子地域でも地域循環バスが運行され、昨年からはデマンド交通へ変更されたところである。
- ・このようにそれぞれの地域で、各々の特徴を持った交通が運行されており、状況に応じ交通体系が成り立ってきた経過があるため、ご理解いただきたい。
- ・運賃について一気に引き上げるべきというご意見は交通事業者からもいただいたが、行政と交通事業者、利用者の互いが納得できる形を模索する中で、経過措置を実施する運びとなり、事業者にもご理解をいただいたところである。
- ・また、事業者からは本来の運賃に戻してほしいという要望もいただいたが、運賃設定を100円単位とすることで運転手の確認作業も楽になるという側面もあり、ゾーン制運賃にご納得いただいた側面もある。
- ・実施にあたっては周知に努めたい。

⇒●参加者

- ・運転低減バスの継続は難しいということによいか。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・そのとおりである。
- ・本来の運賃と低減後の運賃の差があまりにも開きすぎている。
- ・また、ゾーン制運賃となっても本来運賃よりは安い料金設定となっているため、引き続き運賃低減施策が継続しているともいえる。

●参加者

- ・オレンジバスの利用者は高齢者が多いが、ステップに上がることができない場合がある。
- ・ステップを下げてくださいともあるが、毎回は行っていただけない。
- ・上田バスではノンステップバスを導入するといった予定はないのか。

⇒○上田市 交通政策課 横沢課長

- ・オレンジバスは上田市が購入した車両である。
- ・車両は老朽化しており、修理費もかさんでいるため、どこかで車両の更新も考えていかなければならないと考えている。

⇒●参加者

- ・毎回停留所で車両を下げるということはできないのか。

⇒○上田バス(株) 新井取締役乗合部長

- ・車両の不具合で下がらないことがある。
- ・オレンジバスについては、多少到着時刻が遅れても皆さんに快く迎え入れていただけるが、通常の路線バスでは電車との乗り継ぎなどがあり、都度車両を下げると再度上げる動作に時間がかかってしまうため、なかなか難しい。

⇒●参加者

- ・上田駅を見ていると小型のノンステップバスが増えていると感じる。

⇒○上田バス株式会社 新井取締役乗合部長

- ・ノンステップバスでないと車いすの方の対応が難しくなる。
- ・国の施策でバリアフリーの車両購入には補助があるため、活用しながら車両購入をしていきたい。

●参加者

- ・オレンジバスの東塩田コースの「下之郷」停留所について、道路のすぐ脇に設置されており、非常に危険である。
- ・下之郷駅の中に停留所を移設すると、バスを転回させる作業が大変だと伺ったが、非常に危険であるのでそのあたりも考慮いただきたい。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・まずは現場を確認し、改善できるものについては改善していきたい。

●参加者

- ・野倉の方と話す機会があったが、車がなくなったらどうしたらいいのかとおっしゃっていた。
- ・野倉にバスを通すのは大変だと思うため、バス停まではデマンド交通で行くといったことを考えていかなければならない地域だと思っている。
- ・その方にも野倉の方たちが意見を持っていかないと、デマンド交通の話なども進んでいかないという話をした。

⇒○上田市 交通政策課 横沢課長

- ・すべての要望をカバーすることは難しい状況である。
- ・冒頭でも申し上げたとおり、地域公共交通を維持確保していただくだけでも困難な状況となっている。
- ・行政としては地域公共交通の幹にあたる路線バス、鉄道については将来にわたっての維持確保を最優先にやっていかなければならないと考えており、利便増進事業を検討してきたところである。
- ・バス停や鉄道駅までの移動については、全てを行政で賄うことは難しいのが現状である、
- ・先ほどの説明の中で説明させていただいた地域の取組を参考にしていただきながら、地域にあった交通モードを考えていくきっかけにさせていただければと思う。